

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 21 年 7 月 9 日 (2009.7.9)

【公開番号】特開 2007-322520 (P2007-322520A)
 【公開日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-048
 【出願番号】特願 2006-150094 (P2006-150094)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 3 7 0

G 0 3 G 15/01 1 1 4 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 5 月 25 日 (2009.5.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

回転可能な無端状のベルトと、トナー像を形成する画像形成手段と、前記ベルトを張架する複数のローラと、前記ベルトの駆動を行う駆動手段と、前記駆動手段を制御する制御手段と、前記ベルトの内周に設けられ前記ベルトの寄りを規制するリブと、を有し、前記ベルトから転写材にトナー像を転写する又は前記ベルトが担持する転写材にトナー像を転写する画像形成装置において、

前記ベルトの内面には前記リブが設けられていない領域があり、前記制御手段は、前記ベルトの駆動を停止する場合に、前記ベルトが前記複数のローラと接触する位置と重ならない位置に前記領域が位置するように前記駆動手段を制御することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記リブの前記ベルトの回転方向の長さが、前記ベルトの周長より短いことを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記ベルトはマーカを有し、前記マーカの前記ベルトの回転方向の位置が前記領域の範囲内の位置にあり、前記マーカを検出する検出手段を有し、前記制御手段は、前記検出手段が前記マーカを検出した後、所定時間経過後に前記駆動手段の駆動を停止させることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記ベルトはマーカを有し、前記マーカの前記ベルトの回転方向の位置が前記領域の範囲と異なる位置にあり、前記マーカを検出する検出手段を有し、前記制御手段は、前記検出手段が前記マーカを検出した時に前記駆動手段の駆動を停止させるように制御することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記マーカは前記ベルトと反射率が異なり、前記検出手段は前記マーカと前記ベルトとの反射率の差異を検出することで、前記マーカの位置を検出することを特徴とする請求項 3 又は請求項 4 に記載の画像形成装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

回転可能な無端状のベルトと、トナー像を形成する画像形成手段と、前記ベルトを張架する複数のローラと、前記ベルトの駆動を行う駆動手段と、前記駆動手段を制御する制御手段と、前記ベルトの内周に設けられ前記ベルトの寄りを規制するリブと、を有し、前記ベルトから転写材にトナー像を転写する又は前記ベルトが担持する転写材にトナー像を転写する画像形成装置において、前記ベルトの内面には前記リブが設けられていない領域があり、前記制御手段は、前記ベルトの駆動を停止する場合に、前記ベルトが前記複数のローラと接触する位置と重ならない位置に前記領域が位置するように前記駆動手段を制御することを特徴とする。